

県医労新聞

2017年12月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1930号(月刊144号)



県医労フレッシュセミナー（10月28日～29日 ホテル森の風鶯宿）

目次

- 1 P 本部団体交渉
11.9県医労中央決起集会
- 2 P 岩手医労連壮年部集会
退勤時間調査
- 3 P 日本医労連中央行動
地公共闘・人事異動要求書提出
- 4 P フレッシュセミナー
女性部ニュース
- 5 P 青年部ニュース
- 6 P つぶやき とんがらし
10月号パズル当選者
- 7 P お知らせ
 - ◇東北労金ウインターキャンペーン
 - ◇県医労青年部スキー・スノボ交流会懸賞パズル 12・1月の予定



第62回はたらく女性の中央集会 in TOKYO
(10月14日～15日)

12時間二交代は労使合意のもとで

11月17日、本部団体交渉やっとな開催!



冒頭あいさつする大槻医療局長

11月17日(金)11時より県合同庁舎にて本部団体交渉が開催されました。交渉の冒頭で中野委員長から、医療局長宛のイエローカード(13支部・本部102枚)を手工交しました。本部団交開催については、4月から申し入れてきて、やっとなの時期に開催することになりました。団交では、年末年始の労働条件、救急医療体制など6項目について協議しました。

年末年始の労働条件について「非番はやむを得ず割り振っているものであり、出来るところは非番を割り振らなくてよい」と前医療局長の考えと変わりないことを確認しました。病院間で不公平にならないためにも、統一した労働条件での通知文書を求めましたが、「それぞれの病院で事情が違う」とし、事務局長・総師長会議で伝えるとしました。昨年は、支部交渉により7病院の非番の割り振りを阻止しました。今後の支部での交渉が大事になります。

救急医療体制については、勤務が常態化している当直について、医療局長は「勤務にいくことが必要だ。勤務にするには人手が足りないが、病院、職員課とも協議していく」と人員不足を認めました。時期については、明言をさげま

した。12時間二交代勤務と正循環については、12時間二交代勤務は「局として進めているわけではなく、職場から希望があつて導入されている」。組合と合意がないまま実施するのはありえない。協議してから導入するように各病院に徹底していく」と回答しました。

夜勤は有害であるため、医療局長に正循環勤務を推奨するよう求めると、領きながら「働いている人の負担軽減に努める」と回答しました。超過勤務については、「業務の簡素化を行い、働きやすい職場をつくるのが大事。働いた超過は当然つけるべき」としましたが、具体策は示されませんでした。

ハラスメント問題については前進回答が見られませんでした。年次有給休暇については「年次は自由に取るもの」とし、目標設定は受け入れませんでした。

11.9県医労中央決起集会

11月9日、「県医労中央決起集会」を県公会堂で開催。13支部・本部と応援に駆けつけてくれた岩手医労連・いわて労連・医大職組の仲間をあわせ52名が参加しました。集会終了後、医療局棟に向かってシュプレヒコールを上げました。



お待たせしました！ 今年もにぎにぎしく壮年部集会！

11月4～5日、岩手医労連主催の壮年部集会が開催され、県内各地から95名（県医労から16支部・本部45名）が参加し、学んで、笑って、交流しました。



講師を囲んでなごやかに笑顔～！

最初に、福岡県立大学・人間形成学科教授の上野行

良さんの「楽しくあたたかい気持ちでいよう！楽しく生きる考え方のヒント」と題した記念講演がありました。脳科学の視点から、「つらい」と感じる体験は身体的ダメージを受けているのであり、脳が鬱にしたりの腹をたてたりするのこのと。「欲求と感情におぼれないことが大事」と話し、日常の「怒りを沈める」方法として①「自分は○○だ」と思った「と思った」をつけてみる、②文章にして書いてみる、③深呼吸（10～15秒を5分間）するなどで冷静になれるとのことでした。「怒る」のは「自分が正しいから」ではなく

「自分の欲求通りにならないから」。雨や風には腹をたてない。「ねえ君、どうして思い通りになると思うの？」と自問してみるのも良い、と。ストレス解消の方法は、快楽ではなく、音楽や歩くこと、睡眠などで6時間以下の睡眠は、感情や欲求に溺れ続けている状態になるとのことでした。会場は、時折笑い声と「より大人な自分」をめざす表情がありました。とても役立つ講座、①年金制度について、②医労連共済にも熱心に聞き入りました。夕食交流会は、歌あり、余興あり、にぎにぎしく行われました。

退勤時間調査 見えてきたことは？

今年も10月から11月にかけて、13支部が取り組みました。始業前の時間外はほとんど書いておらず、始業後も6割7割がきちんと書いていない結果が明らかになりました。

中部支部



二戸支部



遠野支部



一戸支部



磐井・南光支部



釜石支部



現場無視の「働き方改革」

夜勤改善・大幅増員などを求め、日本医労連「11・16・17対政府中央行動」が東京都内で行われ、16日には「働き方ビジョン」で医療・看護・介護、働き方はどうなる!」をテーマに、シンポジウムが開催されました。



医師、看護師、介護士がシンポジスト

シンポジウムでは、全国医師ユニオンの植山直人代表、北海道医労連の鈴木緑委員長、東京都介護福祉士の内田千恵子副会長の3名が、安倍政権がすすめる「医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」が出した報告書の問題点や方向性について話しました。

看護師である鈴木委員長は、「働き方ビジョン」を読み、怒りに震えた。医療・介護をつぶすビジョン。現場のことを何も知らない人が作っている」とし、「医師の業務を看護師へ、看護師の業務を介護士などへ移管するタスクシフトイング、タスクシェアリング（業務の共同化）は危険な医療であり、本来の姿とは逆行

している。これに高い診療報酬を与えるようなことはあってはならない。大幅な医師・看護師の増員こそが必要で、労働組合が担っていかねばならない」と強調しました。

人事異動要求書等、提出

11月17日に開催された本部団体交渉の冒頭に、人事異動要求書(その2)、岩手医労連・日本医労連の統一要求書を医療局長に手交し、その実現を求めました。人事異動要求書は、各支部でも提出し、交渉しています。



団体交渉の冒頭に、提出

総務部長交渉で、前進 給与改定年内、退職金は継続

岩手県人事委員会勧告を受けて、地公共闘は11月8日に県総務部長と交渉しました。職場で取り組んだ知事宛要請署名、イエローカードを手交して、前進回答を求めました。

給与改定については、国の特別国会での対応は残るものの、12月県議会に提出したい、との回答を引き出しました。また、退職金引き下げについては、現段階では12月県議会には制度改正の提示を

しないことを確認しました。退職金引き下げは、これまでも国が強引に進め、地方にも押しつけてきた経緯もあり、引き続き交渉していく予定ですが、なお、差額支給(4月に遡って給与・一時金を引き上げ、精算して支給する)時期については、12月末、年内に支給の方向が検討されています。

学び、交流し、団結を確認 「勇気を出して発信したい」 フレッシュセミナー開催



セミナー開校のあいさつをする中野委員長

新人組合員を対象にしたフレッシュセミナー（労働学校）が10月28日（土）、29日（日）、雫石町「ホテル森の風鷺宿」を会場に開催され、10支部・本部23人が参加しました。

今年も「県医労のあゆみ」「労働者・労働組合として県医労」「権利について」の3つの講義があり、住民自ら病院を作ってきた県立病院の生い立ち、「ニッ

パチ闘争」と言われる夜勤

制限闘争、増員運動。そも

そも労働者とは、労働組合

とはどういう役割があるの

か、私たちにはどういう権

利があるかなどを学びまし

た。講義の合間には、本部

青年部が中心となって、体

を動かすレクリエーション

もし、夕食交流会でもゲー

ムで懇親を深めました。

講義のあとは2つのグ

ループに分かれ、各病院、

職場での働き方、超過勤務

の請求、年次の取得実態な

第62回はたらく女性の中央集会 in TOKYO

心に潤いを持って

総選挙まっただ中の10月14日～15日、第62回はたらく女性の中央集会が東京都内で開催され、520名が参加しました。

長尾ゆり実行委員長が「憲法を守り、生かす政治に変えるチャンス。元気にたたかおう」とあいさつ。記念講演は精神科医で立教大学教授の香山リカさん。「生きづらい社会を変える処方箋～いのち・平和・人権」と題して、「女性を型にはめたがる社会の中で、女性が自分らしく生き、仕事をしていく事は大変なこと。たおやかな女性のセンスが今の政治や社会に求められている。心に潤いもって生きよう」とエールを送りました。集会后、「憲法守れ」と銀座をパレードしました。



どを交流しました。同じ県立病院でも、病院、職場で大きな差があることを知りました。

り、「職場の環境を変えていきたい」と各職場に戻り

参加者の感想

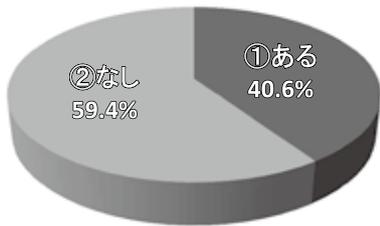
- ・ 年次取得や超過勤務の記入を、勇気を出して発信していくことが、これからの後輩につながることを強く感じた。
- ・ 他病院の話が聞けて、みんな一緒に思っていることが分かりました。
- ・ 自分が持っている権利について興味を持つことができました。

2017年ハラスメントアンケート結果

4人に1人が ハラスメントが原因で退職考える



ハラスメントが原因で退職しようと思ったことが



現在、職場での「いじめ」「パワハラ」など、ハラスメントが社会問題になっています。県医労青年部では、5月～8月に日本医労連青年協会の「青年職員に対するハラスメントについての調査」アンケートに取り組み118名から回答がありました。

その結果は、セクハラは「よくある」1・7%、「ときどきある」17・8%、「パワハラは「よくある」5・1%、「ときどきある」36・4%でした。

セクハラを受けた相手は「患者・家族」が最も多く、パワハラを受けた相手

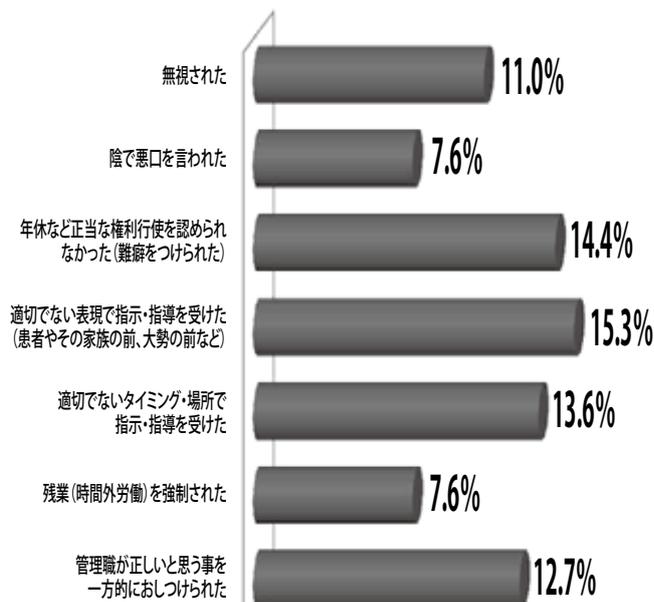
は「上司(師長など)」が多い結果となりました。ハラスメントの理由(複数回答)のトップは「適切でない表現で指示・指導を受けた」。次いで、「適切でないタイミング・場所で指示・指導を受けた」「年次など正当な権利行使を認められなかった」「無視された」「管理職が正しいと思っっていることを一方的に押し付けられた」となっています。

2014年の結果と比較してパワハラが10%減少していますが、ハラスメントを受けた約4割もの青年が「退職したいと思ったこともある」と回答しました。

また、自由記載では管理職のマネジメントの改善を望む意見が多くありました。

一人ひとりがハラスメントをしない・させない意識を持って、皆で働きやすい職場を作っていく努力が必要です。

具体的内容



南光支部青年部定期大会

11月14日、南光支部青年部定期大会が一関市の「自休自足」で開催され、青年部員9名が参加しました。大会では運動方針、予算についての承認、役員選出が行われました。



がんばりまわ

もう少し、もう少しで冬のボーナス。そう思っただけで、がんばって仕事をします。家のためにがんばります。

久慈支部 パンママ

食欲の秋！友だちとバイキングに行くのが楽しみです。毎日忙しいので、楽しみを見つけなきゃ！

中央支部 ちゃんこちゃん

寒くなってきましたね。今年も組合のクリスマス会デイナー、楽しみにがんばります♡

二戸支部 がんばろうママ

先日、出かけた先で、山田線のレールが完成しているのに気がつきました。いつのまに…って感じでしたが、震災後の復旧は無理と

便が良くなるのは、ありがたいです。

宮古支部 みたママ

仕事でのやりがいを感じられる環境に変わってほしい！と思っただけで、勤務時間や手当の充実、給料など、いつか改善されるのだろうか。

大船渡支部 コロちゃん

組合は料を超えて横のつながりができ、普段わからない他科の仕事や悩みを話

せる場ができます。それも組合の魅力のひとつです。

南光支部 ○○○○

仕事が忙しくて、育児も家事も手は回らず、目が回りっぱなし。イクメンパパ、よろしくお願いします。

釜石支部 岩手県産黒豚

だんだんと寒くなってきました。早起するのが辛いです。栄養ドリンクが手放せません。

江刺支部 みかん太郎

当選者発表

10月号パズル

10月号パズル「まちがい7つ」には27名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■10月号当選者(敬称略)

がんばろうママ(二戸支部)、ももま、カズ、疲れた、おむすびまん、ちゃんこちゃん(以上、中央支部)、○○○(中支部)、ココ(南光支部)、みー(大東支部)、岩手県産黒豚(釜石支部)

とんがらし

一貫した態度、姿勢は、時に評価され、時には頑固と批判もされます。今回の総選挙でも、なんと解党し、希望の党に合流する

という民進党に、批判が集中。市民連合との野党統一の約束も反故にしました。その民進党から、一部は立憲民主党を結成、無所属で立候補するグループも。希望の党と対立しているかに見えた日本維新の会は、選挙区で棲み分け▼一貫した態度で、時には硬直した対応とも批判されてきた日本共産党は、市民連合との約束を頑なに守りました。野党統一は崩れましたが、67選挙区で自主的に候補者を下ろし、岩手3区では無所属とはいえ小沢氏を「自主的支援」。一部で評価を上げました。選挙では後退し

ましたが、「やせ我慢」の共産党に一票という著名人も▼希望の党への合流では、「踏み絵」とも言われた強引な政策「合意」が迫られました。ところが、当選してみると、立場が変わったのか議論百出。候補者か議員かの立場によって主張を変えることは、政治家の特質でしょうか▼国のトップのアベ首相も例に漏れず、「気の置けない友」や、トランプ大統領、イバンカ氏には、どこの首相かと思わせる姿勢を国民の前にさらしました。「もり・かけ」問題を始め、国民の立場にたっていないことは、一貫しているようです▼立場によって意見を変えることは、悪いことではありません。しかし、どの立場に立つのかも大事なことです。国民、市民の立場に立つ一貫性、頑固さが必要な時代になっ

(は)

県医労青年部

スキー・スノーボード交流会

参加者募集中!

と き 2018年1月20日(土)~21日(日)

ところ ホテル安比グランド

20日(土) 15時から、ホテル・チェックイン可
18時から夕食交流会

21日(日) 9時集合写真撮影、解散

経 費 宿泊費+リフト券代は本部負担とします。
リフト券不要な方には、領収証と引き換えに
各プログラム3千円まで補助をします(後日清算)。

東北ろうきん

八ろうきん

ウインターキャンペーン

お得な金利とお得なプレゼントをGETしよう! 2017

キャンペーン期間
11/1 ~ 12/31



Campaign 1 店頭表示金利に金利上乗せ

年 0.10%

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

Campaign 2 プレゼントキャンペーン

対象取引のいずれかをご利用いただいた方 全員に

旬 旬 旬

【贈送者】株式会社八戸かんぽ信用組合 八戸支店 支店長
【贈品に関するお問い合わせ】 ニュースイノベーションセンター
フリーダイヤル 03-29-637-241

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所(印)をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒020-0023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は
12月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白に「つ

懸賞パズル



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言お書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく!

12月の予定

- 2日(土) いわて労連女性部定期大会(南昌荘)
- 7日(木) 拡大支部長会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 9日(土) 第62回はたらく女性の岩手県集(盛岡市勤労福祉会館)
- 9日(土)~10日(日) 岩手医労連共済推進・組織担当会議(ホテル紫苑)
- 10日(日) 安倍9条改憲NO!全国市民アクション岩手・結成会

1月の予定

- 6日(土) 県春闘共闘年次総会・旗開き(サンビル)
- 19日(金) 支部長会議(ホテル大観)
- 20日(土) 県医労新春旗開き(ホテル大観)
- 20日(土) 県医労春闘学習会(ホテル大観)
- 20日(土)~21日(日) 県医労青年部スキー・スノーボード交流会(安比グランド)
- 27日(土) 岩手医労連中央委員会(エスポワールいわて)
- 岩手医労連旗開き(ホテルニューカーリーナ)

